

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 全員協議会室
			担当職員 田中
日 時	令和7年8月4日（月曜日）	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 56 分
出席委員	◎法貴、○山木、林、片山、梅本、齊藤、菱田		
出席理事者			
出席事務局	小野議事調査係長、田中主事		
傍聴者	市民 0 名	報道関係者 0 名	議員 0 名

会 議 の 概 要

10:00

1 開会

2 事務事業評価対象事業の選定

<法貴委員長>

事務事業評価対象事業の選定について事務局から説明を。

[事務局主事説明]

<法貴委員長>

前回の分科会で、各委員に対象事業の抽出をお願いした。事前に抽出した内容を記載した資料に基づき、事業ごとに各委員から抽出した理由や論点とされたい点などを報告願う。資料に基づき上から順に報告いただくこととする。地域営農担い手条件整備事業経費について、菱田委員報告願う。

<菱田委員>

地域営農担い手条件整備事業経費の内の地域担い手応援事業について、1,000万円の予算が計上されていたが、事業費が不足しているのではないかと感じる。本事業は、開始当初から繰入金などを利用して市の単費で実施してきたものであり、今年度においても同額の予算としていたが、既に今年の6月議会で増額補正されている。事業施行から約5年が経過しており、年数を追って希望者が増えている現状である。新規就農者については、国や府、市から様々な支援があるが、ベテランの就農者や親元就農など条件に入りにくい農業従事者は、比較的支援体制が手薄となっていることから支援体制の確認を行いたいと考えている。5年間で3回目の申請をされている方もいるため、令和6年度も含めてこれまでの総括をして、できれば今後の上積みに向けた議論ができればと考えている。

<林委員>

中山間地域等直接支払推進事業経費について、昨今の米や水不足に対応できる適正な金額設定となっていたのか確認したいと思い挙げさせていただいた。

<齊藤委員>

林委員と同じく中山間地域等直接支払推進事業経費を挙げさせていただいた。中山間地域は耕作放棄地となっている割合が多く、食糧自給率を維持するためにも

重要な事業であると考えている。

<山木副委員長>

多面的機能支払推進事業経費については、景観維持だけではなく、農地や水路を守り、持続可能な農業とするべく、地域ぐるみの協力体制が整っているのかを確認するために評価対象事業の候補とさせていただいた。

<齊藤委員>

同じく多面的機能支払推進事業経費について、本事業は地域が協力して自分たちの地域を守っていくものであり、生き残っていくためにより多くの支援が必要になると考え挙げさせていただいた。

<梅本委員>

畜産振興関係経費について、亀岡牛の啓発やブランド力の向上に向けた事業展開となっていると認識しているが、畜産業においては、昨今の物価高騰で資源や人件費の確保が課題となっていると聞いている。亀岡牛は、令和5年の近畿東海北陸連合肉牛共進会において農林水産大臣賞を受賞するなど、三大和牛に引けをとらない牛肉であると評されており、ふるさと納税の返礼品でも好評である。生産者が人材不足などで経営的に苦しい状況にある中で、適正な支援体制がとれているのか確認したく挙げさせていただいた。ぜひ検討いただきたい。

<林委員>

商工業振興対策経費について、本市における経済基盤の商工業が市のにぎわいや産業の創出に貢献できているのか確認したく挙げさせていただいた。

<梅本委員>

林委員が挙げられた商工業振興対策経費の内、かめおか共創支援プロジェクト業務委託料に着目した。本事業は、令和6年度から開始した新規事業であり、今年度も引き続き予算計上されているものである。若手起業家の育成や大学生を対象とした起業精神の醸成への取組については、商工会議所やO I C Kで取り組まれているところであり、そういった団体との連携も交えてより効果的な事業とするために事業実績の検証を行いたいと思ひ挙げさせていただいた。

<山木副委員長>

観光推進経費については、観光協会への運営支援やPR、観光イベントを通じた市内外からの観光客誘致の取組を推進することによる地域活性化のための経費であると認識しており、観光入込客数と観光消費を検証することでどれだけ地域経済に貢献しているか計るため対象事業候補に挙げさせていただいた。

<齊藤委員>

観光推進経費の内の保津川遊船の安全対策に係る経費を挙げたが、保津川遊船企業組合を含めてしっかりと対策を講じた上で昨年削減されているため、取り下げさせていただく。

<法貴委員長>

バス交通関連経費について、運転手不足によりふるさとバスやコミュニティバスが減便されており、減便された吉川町にお住まいの方から復便の要望を聞いている。本市が行っている運転手不足に対する施策としては、市民ノーマイカーDayのチラシ裏面に「バス運転士募集」と記載していただいている程度である。他市においては、二種免許取得の補助など様々な施策を打っている自治体もある。運転士確保に向けた取組が現在の体制で十分にできているのか確認したく候補に挙げさせていただいた。

<片山委員>

道路維持経費の街路樹根切・伐根工事について、今年の7月頃にふれあい通り沿いの街路樹が強選定されたことで、市民の方から苦言を伺うことがあった。整理された選定マニュアルに基づいて作業されているのか、亀岡市水と緑の基本計画にある「景観に配慮した街路樹」に沿って木陰などに配慮した選定方法とされているのか、維持管理の在り方について見直しを行い整理する必要があると思いを取り上げた。

<林委員>

公園緑地整備事業費について、途中経過となる事業であるが金額が大きいため、進捗状況や地元の建設会社への経済効果なども含めて検証したいと考えている。また、下水道事業会計の処理場費の内の汚泥運搬・処分業務委託料について、金額が大きく毎年行う業務であり、市民の方に興味を持っていただく必要があるものであると考えている。汚泥の有効利用ができていたのか、今後の可能性も含めて議論していきたいと思っている。

<法貴委員長>

今出た意見の中から2～3項目程度に絞り込みたいが意見はあるか。

<齊藤委員>

商工業振興対策経費のかめおか共創支援プロジェクト業務委託料については、OICKとの連携を視野に入れるためにもよい題材になると考える。OICKにも共通していることであるが、目に見える成果がないということで、委員会として見直し、検証していくべきではないかと考えている。

<議事調査係長>

事業を今後どのように進めていくのかについては、事務事業評価を受けてから決定することとなるため、現時点で取り扱い方法を決めることはできないので了承願う。

<梅本委員>

事務事業評価の中で今後の展開についても議論できればと思っているが、令和6年度の事業を精査する中で、事業を見直していけるような方向で進めていきたい。

<法貴委員長>

齊藤委員と梅本委員から、目に見えた成果があったのかどうかを確認するためにも商工業振興対策経費のかめおか共創支援プロジェクト業務委託料を対象事業に選定してはどうかという意見があったが、そのように取り扱ってよいか。

(全員了)

<片山委員>

中山間地域等直接支払推進事業経費及び多面的機能支払推進事業経費については、各委員から重要な施策であるためより充実させるべきとの意見があり、私自身も立場的にそのとおりであると思うが、国から出された方針に準ずるという事業の仕組みを考慮すると、対象事業として取り上げて委員会内で議論するのは難しい部分があり事務事業評価対象事業としては適切ではないと感じる。

<齊藤委員>

国の農林水産関係予算の重点事項に中山間地域振興に関わる項目が取り上げられており増額もされている。政権がどうなるか不明であるが、国が大きく関わっているため致し方ない部分はある。

<法貴委員長>

中山間地域等直接支払推進事業経費と多面的機能支払推進事業経費の2点につい

て意見はあるか。

<菱田委員>

いずれも財源は国や府の負担が6から7割となっており、市の一般財源がベースではない事業である。私も充実していく必要があるという思いは同じであるが、事務事業評価対象にはそぐわないのではないかと考える。

<齊藤委員>

処理場費の汚泥運搬・処分業務委託料は、取り上げることで市民への周知にもつながるものと考えており、市民からの意見を受けることで議会としても今後活発な議論が期待できるのではないかと考えている。

<山木副委員長>

商工業振興対策経費について、本市において商工業は必要な経済基盤であると認識しており拡充していただきたいと思っているが、項目が多岐にわたっているため、林委員に具体的な内容を伺いたい。

<林委員>

梅本委員が挙げられていたかめおか共創支援プロジェクト業務委託料も含め、新しい産業の創出という観点から検証を行いたいと思い挙げたものである。目に見える成果の検証という意味でかめおか共創支援プロジェクト業務委託料に絞っていただいてもよいと思っている。

<法貴委員長>

かめおか共創支援プロジェクトについては、新規事業で成果がまだ表れていないと判断し得る事業となるかもしれないが、一方で今後も継続予定であり、目的に対する成果が見えにくいという部分もあるため、選定対象とさせていただくのでよろしく願います。地域営農担い手条件整備事業経費の地域担い手応援事業については、新規就農者以外の就農者に対する支援の在り方を検証する上でも対象事業としてはどうかと考えている。

<齊藤委員>

審査における提出書類が煩雑でありやめてしまう方もいると聞く。しかし、精査する上で煩雑になることは避けられないものであるため、市民理解を得る必要がある。そのような事務手続き等補助金以外の部分でも見直せる点があるのではないかと感じている。

<菱田委員>

農業において生産力を高めるためには、ベテラン農業従事者に多く生産していただくほうがより効果的である。現制度ではトラクターの購入など規模が大きいものは比較的要件が厳しく、仮に補助金を受けられたとしても後から返金という形になるため、先に購入する必要があり、農家側からすると経済的負担感は拭えない現状である。ここに対する支援の拡大と要件の緩和が必要であると考えているが、事務事業評価の中で各委員の意見も伺いながら判断できればと思っている。

<法貴委員長>

事務事業評価対象事業の一つとして、地域営農担い手条件整備事業経費の地域担い手応援事業を選定してよいか。

<梅本委員>

そのように取り扱っていただきたい。手続きの煩雑さについては、農業に限らず事業実績評価の提出なども含めて補助金の申請には必要最小限するべきことであると考えておりやむを得ないものと認識している。その反面、記入事例を作成するなど申請しやすい仕組みづくりができているのかどうかについても触れてみて

はどうかと思う。

<法貴委員長>

それでは地域営農担い手条件整備事業経費の地域担い手応援事業を事務事業評価対象事業の一つに選定する。

<齊藤委員>

先ほど提案したが、林委員の挙げられた処理場費の汚泥運搬・処分業務委託料を選定いただきたいがどうか。

<梅本委員>

畜産振興関係経費について、2,150万円ほどの予算の内、約1,900万円が施設の改修費に充てられており、安定供給のための費用は200万円程度となっている。経費としては大きく見えるが、畜産業者への支援が手薄であると感じている。拡充を図っていくためにも議論させていただければありがたい。

<法貴委員長>

処理場費の汚泥運搬・処分業務委託料について、再度、林委員に論点を説明願う。

<林委員>

汚泥運搬・処分業務委託料については、毎年計上されているものであり、令和6年度においても約1億4,700万円となっており非常に高額である。汚泥の有効活用ができてきているのかについて、また、市民の皆さんに興味を持っていただく意味でも事務事業評価対象事業の一つとして挙げてはどうかと考えている。

<法貴委員長>

畜産振興関係経費もしくは下水道事業会計の処理場費のどちらかで決定したい。他に意見はあるか。

<菱田委員>

処理場費については、農林水産省が策定している「みどりの食料システム戦略」においても、下水汚泥について記載されており、単に処分するのではなくバイオマスとしての活用推進が取り上げられている。本市においては、単に埋め立てされているだけなのか、何か別のものに有効活用されているのか、現状を確認し、環境先進都市として独自で活用方法について考えていくことも重要であると考ええる。また、畜産振興関係経費については、ほとんどがHACCPに適法させるために必要な経費であると認識している。以前、議会の一般質問にて、飼料の高騰により子牛を購入できずにいる亀岡牛生産者への支援拡充について質したことがあるが、畜産には牛だけではなく豚も鶏も含まれる上に牛の中でも肥育牛や酪農など幅が広く、的を亀岡牛だけに絞ることは難しいと分かった。幅広く支援していくのか、ある程度スポットを当てて支援していく方がよいのか、梅本委員の見解を伺いたい。

<梅本委員>

養豚や養鶏含めて畜産であるということは理解した。亀岡牛のことだけで話しており大変申し訳ないが、ふるさと納税の返礼品で好評を得ているにもかかわらず、子牛が少なく亀岡牛の畜産業者は飼育に四苦八苦されているのが現状である。小さい枠組みではあるが、そういったところまで波及する効果があると感じているため、ぜひ拡充していただけるような議論ができればと思っている。また、補助金などの申請の中で亀岡牛以外の畜産業者への支援にも活用していけるような事業になればと思う。過去4年間でも取り上げられていない経費であることも一因である。

<齊藤委員>

処理場費について、一年間で1億5,000万円近く予算計上されており、10年で15億円という計算になる。金額が大きいため、見直すことで畜産振興関係経費等の経費に割り当てられる予算が増える可能性もある。ふるさと納税については最近線がブレてきている印象を受ける。セーフコミュニティや全国都市緑化フェアなど本市をイメージづける事業などが多々ある中で、認知度が上がってきた要因はやはり環境先進都市というところにあると思っている。汚泥の活用方法について議論し、他市がまだ実施していない環境に配慮した施策を実施していくことがより環境先進都市としての地位を確立させてくれるものと考えているため、処理場費の汚泥運搬・処分業務委託料を事務事業評価対象事業の一つに選定いただきたい。

<山木副委員長>

処理場費に係る汚泥の活用については、今後継続して取り組むものになるため、見直していくことは必要であると思っている。また、畜産振興関係経費については、土づくりセンターの補修等在り方について見直すきっかけにもなると思う。

<菱田委員>

畜産振興関係経費について、畜産農家への支援に係る経費はほとんど含まれていない。事務事業評価対象事業には挙げず、亀岡牛生産組合の方をお招きして話を聞く場を設けて意見交換会を実施してはどうかと考える。

<梅本委員>

ぜひ亀岡牛生産者の声を聞く機会を設けていただきたい。

<法貴委員長>

畜産振興関係経費については、生産者の声を聞く意見交換会を実施することとし、事務事業評価対象事業には下水道事業会計から処理場費の汚泥運搬・処分業務委託料を選定することとしてよいか。

(全員了)

<法貴委員長>

今年度の事務事業評価対象事業は、「商工業振興対策経費」、「地域営農担い手条件整備事業経費」、下水道事業会計における「処理場費（汚泥運搬・処分業務委託料）」の3つとしてよいか。

(全員了)

3 その他

<法貴委員長>

次回の委員会については、限られた時間の中で、論点に沿った質疑を行い、円滑かつ適切に対象項目の論点整理を行う。日程について、事務局から説明を。

<事務局主事>

事前の勉強会や論点整理には、実際に使用する調書でもって行うのが望ましい。その調書の提出を待って勉強会や論点整理を行ってはどうか。次回開催日を決定願いたい。

<法貴委員長>

次回開催日は、論点整理として9月11日（木）の産業建設常任委員会議案審査終了後としてよいか。

(全員了)

<法貴委員長>

また、決算審査に係る勉強会を8月26日（火）午前10時から行うこととしているのでよろしくお願いいたします。なお、決算審査に当たり、現地視察を行う場合は9月18日（木）を予定しており、決算審査終了後に現地視察の有無について諮り決定するのでご承知おき願う。

～散会10：56